



福岡市佐賀県人会会報



後楽庵 東与賀町

30

1995. 2

平成七年の新春を
お慶び申し上げます

福岡市佐賀県人会

會長 金子 宜嗣

新年明けましておめでとう
ございます。福岡市佐賀県人
会の皆様には、お健やかに初
春をお迎えのことと存じます。
昨年何かと県人会発展の為
お世話になりました。

に言うべき言葉もありません
犠牲者のご冥福と大地震で崩
壊した建物、高速道路、新幹
線の橋げたなどの、早急の復
旧を期待し、一日も早い被災
者と被災地の立ち直りを願う
ばかりです。

一方、昨年の政界は内閣総



平成七年を迎えた今年は、あの忌まわしい太平洋戦争後五十年の歳月が過ぎようとする区切りの年であります。一月十七日未明突然起こった『兵庫県南部地震』という、兵庫県を中心とした関西地方に戦後最大級の都市型地震が発生し、天災とは申せ、被災されました犠牲者の方々を思うと胸が痛み、やり切れなさ

理大臣が一年で三回も変わりあぐくの果てに自民党と社会党の連立政権が誕生するなど混乱が続きましたが、今年は地方統一選挙等があり、忙しい年になるかと思われます。

又、佐賀・福岡でのバブル崩壊後の景気後退の回復は、今しばらくの時間がかかり後遺症は依然としてあるものと察せられますが、九州の核都

心、福岡はまずもって地方都市としての機能を次第に発揮し、安定した兆しを見せているようにうかがえますので、お互いに新しい年へ力強い第一歩を踏み出しましょう。

さて、ふる里の佐賀県で昨年の最も明るいニュースとして、昨年夏の第七十六回朝日新聞社主催・全国高等学校野球選手権において、甲子園の晴れ舞台に参加校四〇八八校から勝ち抜いた強豪の中で見事優勝し、日本一として我らの故郷に初めて紫紺の優勝旗をもち帰ってくれました『県立佐賀商業高等学校』は、九州佐賀県の葉隠れ精神ここに有りとな全国に佐賀県の名を高めて頂いた功績は、何物にも変えがたき名誉であり、私共は同じ県人として目頭熱くなり、感無量の思いが致しました。福岡市佐賀県人会から『佐賀商業よ、よく勝って下さった』と、この会報を通じて感謝を申し述べたいと思います。

私達の住む福岡では、今年世界の学生オリンピック・ユニバーシアード福岡大会が八月・九月にかけて開催予定でその設備は急ピッチで進められており、既に現在までの参加国一二ヶ国、選手団六千人出場が予定されており、この若さはじける世界各国の選手が、福岡に集まるのも、あと半年にせまっております。県人会の皆様もそれぞれの好意で、参加される人々に対し心から歓迎し、応援していきましよう。

それにしても福岡地方は、昨夏以来の渇水で、今年もこの状態が続けば大変な水不足に見舞われ、いろいろの方面で支障を招く恐れがあり、ただ神に降雨をお願いするのみです。景気面も含めて何事もあまり期待できませんが、私は皆様と共に手をたずさえて頑張ってくださいとの、今年もよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶と致します。

[illegible]

新年のあいさつ

福岡市長

桑原敬一



謹んで新春をお慶び申し上げます。

佐賀県と福岡市は、共に玄海灘に面し、千年以上の太古の時代から大陸への渡航地、大陸文化の入口として栄えるなど、地理的、歴史的に緊密な関係にあります。また、本市及び近郊在住の佐賀県出身

者はおよそ十五万人ともいわれ、いずれも各界各層の分野でご活躍なされ、更には本市発展のため多大の貢献を賜っていることにつきまして、深く感謝し御礼申し上げます。

現在、佐賀県は、県政の基本理念を「豊かさ体感・ときめき佐賀新時代づくり」とし、県政の目標として、教育・文化・スポーツ、産業などの県政のあらゆる分野の活力を起

こし、来るべき二十一世紀に向けて経済的豊かさと併せてこちらの豊かさややすらぎを日本中で最も実感できる県の実現、即ち、「住みたい県日本一」を目指し、様々な施策を積極的に展開されているところであります。とりわけ、県民希望の佐賀空港の本格着工をはじめとして、来年開催される「世界・森の博覧会」、更には、我が国では二番目の国営歴史公園「吉野ヶ里遺跡」の整備等、佐賀県は今まさに話題に溢れ、活況を呈しているところであります。

さて、福岡市は、観測史上最少という異常少雨による大洪水にみまわれ、昨年八月より給水制限を実施中でございます。幸い、各県の皆様方の心暖まるご支援、ご協力によりまして市民への影響も最小限にくい止めることができましたことは、偏に、皆様方のご支援の賜とここに深く御礼申し上げます。

本市といたしましては、水の安定供給を図る観点から、

下水処理水の再利用、雨水の活用や海水淡水化導入の可能性調査など、今後とも多種多様な水源開発に鋭意取り組むとともに、広域利水を促進するため、皆様の尚一層のご支援、ご協力を切にお願いいたします。

また、今年八月には、本市で世界の学生オリンピック「一九九五年ユニバーシアード福岡大会」が開催されます。大会開催まで二〇〇日を切り競技会場・選手村の整備をはじめとしまして、関連施設の整備も順調に進展しているほか、既に、一二の国・地域からの参加表明を得ておりまして、大会へ向けた市民の機運盛り上がりを見せているところでございます。大会開催の折には、皆様の郷土佐賀からも多くの方々が福岡へ訪れていただきますようよくお願いいたします。

終わりに、皆様方のご健勝ご活躍と福岡市佐賀県人会の今後ますますのご発展を心から祈念いたします。

新春懇親会

梅の蕾もほころびはじめ、早春の香り満開の二月十七日平和樓本店で、百五十名を越す出席を得て、福岡市佐賀県人会新春懇親会が開催されました。昨年の総会以来六ヵ月ぶりの再会に、開会前のひととき、あちこちに談笑の輪が広がっていました。



金子会長の挨拶

定刻、午後六時より井上理事の司会で式典が始まりました。筒井副会長の開会の言葉に続き、金子会長からご挨拶がありました。又、多数のご来賓の中より、国会議員を代表して佐賀県選出の衆議院議員坂井隆憲様、県・市会議員を代表して、県議の田中久也様、そして福岡市長代理として、民生局長古屋浩輔様よりご挨拶を頂きました。



続いて、佐賀県知事や福岡県知事、また佐賀県の各市長からの二十通を越す祝電披露を終わり、指山副会長の音頭で祝宴の幕が開きました。

アトラクションは、昨年大好評のビンゴゲーム。舞台せましと並んでいる賞品の争奪戦が始まりました。

テレビやビデオデッキを目的のあたりにして、司会が読み上げる数字に一喜一憂、最後の賞品が無くなった時には、会場からなんととも言えないため息が聞こえて来ました。

そして午後八時
辻副会長の閉会の挨拶と万歳
三唱で、次回の再会を期して
お開きとなりました。
最後に、皆様から頂戴致し
ました「阪神大震災」の義援
金は一二五、九五四円となり
会から五万円をプラスして総
額一七五、九五四円を送らせ
て頂きました。有り難うござ
いました。（記 水間理事）

東与賀町は、明治二十二年の町村編成法により東与賀村として誕生し、以来今日まで主に第一次産業を中心に発展してきました。実りの時期には稲穂が黄金色に美しく輝き、晩秋から冬にかけては有明海に海苔ひびが立ち並びます。近年は、イチゴ・メロン・トマト・ナスなどのビニールハウス栽培も盛んに行われるようになってきました。また、主要な街路には桜をはじめとする並木、さらに、旧干拓堤防には昔日の松土居をイメージさせる松土居公園や松土居西公園があります。

しかし、豊かな自然に恵まれた本町でも経済の構造変化や地域社会をめぐる環境条件は流動的で厳しいものになってきており、地方レベルでは

解決できないさまざまな問題が生じてきています。さらに産業奨励施策や地域づくり・まちづくり施策を中心とした従来型の施策から地域に密着した構造政策へシフト変換をする時期にきていると考え、産業の振興、福祉の充実、教育の振興、文化の向上などゆとりと潤いのある町を目指してさまざまな施策に取り組んできました。

今後は生活環境の整備や文化施設をはじめとするインフラ整備、魅力的で住みよい空間づくり、個性的なまちづくり等を今まで以上に充実させる必要を感じています。

福岡市佐賀県人会の皆様には健康に留意され、これからもますます御活躍されますよう心からお祈り申し上げます。

ふるさとと首長



東与賀町 町長 碓 覚介

広大な緑と干潟

ふるさと紹介

東与賀町

東与賀町は、佐賀県の南部、有明海沿岸に位置し、人口約七千人の農業と漁業を主産業とする町です。

有明海の海岸沿いには、季節ごとに色が変わるシチメンソウが群生し、干潟には野

鳥が飛来する自然豊かなところ。シチメンソウは、アカザ科の一年草で九州の代表的な塩生植物で、特に耐塩性が強く、有明海沿岸では河口部の湿地、干潟などに群落をつくります。四季を通じて葉



干潟ギャラリー

や茎が七色に変化するためこの名があります。昭和天皇の行幸によってシチメンソウの名が全国的に知られるようになりました。

三キロにわたって続く有明海沿いの堤防には干潟ギャラリーがあります。干潟ギャラリーは、縦横約二メートルのアカリル樹脂のキャンパスに描かれた絵を海岸堤防に設置した屋外アートスペースです。現在、風景画や抽象画など約二〇〇枚が飾られていますので、ぜひ東与賀海岸まで足を伸ばしてみてください。

ところで、平成一〇年には佐賀空港が開港します。これを機に東与賀町も大きく変わってくるものと思われ、産業の振興、教育の振興、文化の向上、福祉の充実などは今まで以上に重要な施策となってくるものと思われます。平成七年度は多目的ホールと図書館の複合施設建設、下水道事業の着手、大規模土地利用計画の実施など大規模なプロジェクトが控えています。

これからも東与賀町を御支援、御指導くださいますようお願いいたします。

平成六年

秋の叙勲

▽勲四等旭日小綬章 久保悦次さん(七五)

この度の秋の叙勲で、私達、福岡市佐賀県人会の役員(監事)であられる久保悦次さんが地方自治に貢献された功績により勲四等旭日小綬章をうけられました。晴れのご栄誉を称え会員一同で、お祝い申し上げます。



昭和二年六月 佐賀県地方事務官
昭和二年七月 福岡県地方事務官

福岡県職員としての経歴

昭和二年一月～昭和二年五月 福岡県地方世話部第二課
昭和二年八月～昭和三年五月 農地部(三二年より農政部となる)耕地課・庶務係長
昭和三年五月～昭和四年八月 土木部管理課・総務係長
昭和四年九月～昭和四年九月 林務課林政課・総務係長
昭和四年九月 林部部・参事補佐
昭和四年九月～昭和四年九月 議事事務局・課長補佐
昭和四年九月～昭和四年九月 監査委員事務局・課長
昭和四年九月～昭和四年九月 衛生部医務課・課長
昭和四年九月～昭和四年九月 衛生部・次長
昭和五年五月～昭和五年五月 人事委員会事務局・局長

★ふるさと特集★

「世界・焔の博覧会」

平成八年夏、佐賀県では「やきもの」を切り口とした大規模イベント「世界・焔の博覧会」が開催されます。

名 称「世界・焔の博覧会」

メインテーマ「燃えて未来」

主 会 場 佐賀県有田地区(有田町・西有田町) 地域サテライト会場 唐津市・伊万里市・武雄市 福岡県 長崎県など。

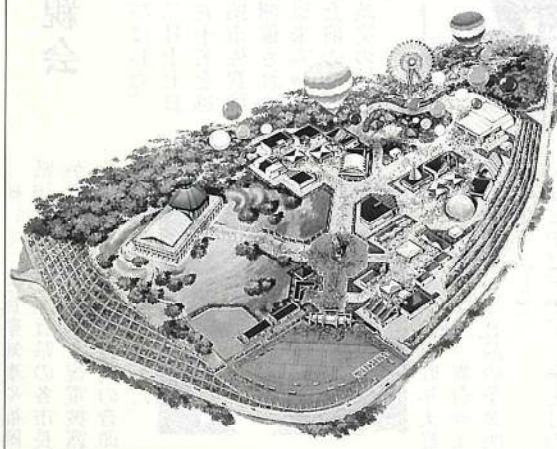
吉野ケ里サテライト会場

平成八年夏、佐賀が熱く燃える

世界・焔の博覧会は、人と自然と技術の調和の中から生まれた「やきもの」をキーワードに、豊かな未来を語る87日間です。平成八年夏、佐賀は、まさに夢と希望と情熱に燃える熱い夏を迎えます。

昨年の総会でお願ひさせていただいた「ふるさと佐賀応援団」にも、福岡市佐賀県人会から一四〇名を超える方々に申し込みをいただきました。本当にありがとうございます。とても心強く感じています。

二月十七日は、キャラバン隊の出発式を行い、表敬訪問や街頭キャンペーンを開始しました。特に福岡地区では、重点的にキャンペーン活動を行っていますので、御支援よろしくお願ひします。お問い合わせ先 世界・焔の博覧会実行委員会事務局 ☎0952-12517104



・会期

平成8年7月19日(金)
～10月13日(日)

◎佐賀商が全国制覇、夏の甲子園

「佐賀商、4088校の頂点に」。第七十六回全国高校野球選手権大会最終日の八月二十一日、佐賀商は樟南（鹿児島県）と決勝戦を行った。佐賀商は九回、主将の西原が決勝戦では大会史上初の満塁本塁打を放ち、8-4で全国制覇を果たした。

試合は、甲子園球場を埋め尽した人観衆を魅了した好ゲームを展開。佐賀商は4-4で迎えた九回、二死満塁から、西原が樟南のエース福岡の初球をレフトスタンドに運び、試合を決めた。エース峯も粘りある投球で九回を投げ抜き、6試合連続完投勝利を上げた。県球史に残る快挙に、県内各地で県民の惜しみない拍手が送られた。佐賀商の田中監督は「もう本当に何がどうなっているのか、正直分からない。奇跡としか思えない。子どもたちの底知れない力に驚かされた」と感激していた。



全国制覇を飾った佐賀商野球部



ワンの佐賀女子高校は、琉球民謡の明るいリズムに乗り、ノミミで演技を終え、観衆を魅了した。光岡三佐子監督は「長年の三冠の夢がようやくかない、感無量。国体での優勝は難しいが、それを乗り越えてくれた選手を褒めてあげたい」と喜んでた。



高校三冠に輝いた佐賀女子高生体操部



◎佐賀女子みごと3冠、国体でも新体操優勝

愛知県でも昨年十月行われた第四十九回国民体育大会（わかしゃち国体）秋季の新体操少年女子で、佐賀女子高校は団体で19・00（構成9・65、実施9・35）の高得点をマーク。沖縄国体以来七年ぶり二度目の優勝と同時に、全国高校選抜、全国高校総体と合わせ全国制覇を果たした。この大会でも注目度ナンバー

◎禁煙競いませんか。がん県返上へコンテスト

一人ではなかなか達成できない禁煙を県が支援しようと、県は一月十六日から禁煙コンテストを実施している。肺がんを含めた県内のがん死亡率が全国三位（一昨年）と高いことから、汚名返上を目指す県が音頭を取り、競争心をあおって一人でも減らす作戦。参加者には、我慢できなくなったら①水を飲む②深呼吸

する③散歩するなどのアドバイスを書いた教材や「禁煙カレンダー」などを配布。最初二週間は禁煙準備期間として、喫煙習慣やニコチン依存度などを自己分析し、それから四週間の完全禁煙に入る。目標達成を支えるため途中三回のレポート提出が求められ、禁煙をチェックする家族や同僚ら二人が必要。四週間の禁煙達成者には「禁煙認定書」を交付するとともに、抽選で五万円の旅行クーポン券などが当たる楽しみもある。

◎三階建て、96年度に着工、佐賀空港ターミナル

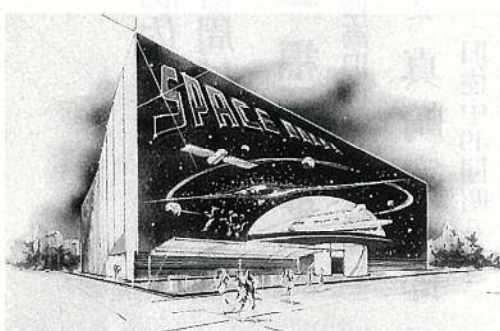
一九九八年に開港予定の佐賀空港（佐賀郡川副町）のターミナルビルを建設、運営する第三セクター「佐賀ターミナルビル会社」の発起人会が、一月二十三日佐賀市内であり、創立総会を二月十日に開くことや会社定款など決めた。計画によると、本店は川副町大井道のターミナルビル建設地に置く。ビルは三階建て、

◎宇宙旅行を疑似体験、森の博「宇宙館」構想決まる

世界・森（ほのお）の博覧会に、県内主要企業六社が共同で出展するパビリオン「森の宇宙館」（仮称）の基本構想が、一月十日決まった。佐賀銀行、松尾建設、久光製薬、戸上電機製作所、マリトピア、佐賀新聞社の異業種六社が科学技術や宇宙開発事業団の全面協力を実現させた共同企画。

「飛翔体験―宇宙・ひと・未来」を基本テーマとし、二十一世紀に生きる子供たちに宇宙旅行の夢を持たせると同時に、美しい地球環境を守るという願いを込めた出展となる。総事業費は約五億円で、

期間中約二十八万人の入場者を目指している。パビリオン内部は「宇宙開発とセラミックス」を実感させるスペースシャトルやHIIロケットなどの展示コーナーと、大型四面マルチスクリーンを駆使した体験シアター「スペースツアー2061」の二つのゾーンを設定する。



「森の宇宙館」の完成イメージ

◎新幹線「武雄温泉―新大村」、路線決定へ地質調査

日本鉄道建設公団（東京）は、九州新幹線長崎ルート（博多―長崎）のうち、武雄温泉―新大村間（約三十キロ）の路線を決める地質・地形調査を始めた。

武雄温泉―新大村間は、佐世保市を経由する路線をカットしたルート。運輸省が調査開始の条件だった地元調査が整ったと判断、同公団に調査開始を指示した。

同公団は今後二、三年のうちに、調査とその結果に基づくルートの選定・公表を行い、環境影響評価（アセスメント）を実施。この後、アセス報告書を佐賀、長崎で縦覧後、国に対し事業認可を申請する運びだ。

◎唐津焼展示が目玉に、「ふるさと会館」計画

唐津地域の地方拠点都市の指定を受けて、唐津市が建設する「ふるさと会館」（仮称）の計画が明らかになった。

建設場所は現在、JRの駐車場となっている唐津駅北口の敷地約七千六百平方メートル。平成六、七年度の二ヵ年計画で建設、総事業費は約二十五億円。

建物は鉄骨三階建て（一部平屋）。一階部分は会館目玉になる唐津焼展示場。唐津焼協同組合をはじめ、唐津・東松浦地区にある三十五の窯元に出店してもらい、唐津焼を一堂で紹介する。多目的ホールは観光物産展や朝市、フリーマーケットなどに利用する。二階は地場産品を中心としたお土産コーナー。三階は団体客など百二十人が収容できるレストランを予定している。

◎県内最大の売り場、JT跡地に複合施設

鳥栖市本鳥栖町の日本たば

佐賀県だより

NEWS FROM SAGA

佐賀県だより

佐賀県だより

本欄のニュース、話題はすべて佐賀新聞社より提供いただきました。

鶴さんや〜い 亀さんや〜い 花婿花嫁候補紹介!!

心から頼れる方を探しています!! 心優しい人をさがしています!!



さん
住所

学歴 同志社大学卒業
職歴 日本航空(株)国際線客室乗務員
身長
趣味 ゴルフ 読書

*家族

父 出版社勤務
母 (小城出身)
妹 生保会社勤務

おたすね

① 昭和商事石油株式会社内 県人会事務局 ② 鶴亀薬局・ツルカメ漢方本店

担当 落合・川津

TEL092-714-3111 〒810 福岡市中央区大手門2丁目3-7



さん
住所

昭和51年 福岡市城南區金山小学校入学
昭和57年 城南中学校入学
昭和60年 福岡県立筑前高校入学
平成1年 九州国際大学入学
平成5年 共栄火災福岡支社入社
趣味 ゴルフ、バスケット、テニス

*家族

父 60才 前九州朝日放送
母 58才
長女 西陵高校2年
次女 西陵高校2年

コラム

思い込んだら行くっきゃない

— 魅せられて横浜ミステリー紀行 —

コラム

最近、推理小説をよく読む。郊外の書店を覗いて見ると、特設コーナーがある。赤川次郎や西村京太郎、斎藤孝、内田康夫らの人気作家の名前が踊っている。特に、十津川警部と亀さんや江戸川警部、又ルポライターの浅見光彦が活躍するトラベルミステリーは女性に絶大な人気を博しているようだ。まだ見たことも無い湖畔で、雪の白樺林の中で、そして走る列車の中で殺人事件が起こり、旅情豊かに物語が展開してゆく。「雪の札幌で殺人事件が起こり、容疑者は死亡推定時刻には四国の高松に居た」という鉄壁のアリバイが!。時間の壁の向こう側に隠された謎とは? 「カパーの裏に、このような紹介文が載っているともうダメだ。無条件で購入してしまう。作家なんか誰でもいいのだ。ところが、近年チョットした異変が起きた。読む作家が固定してしまっただけである。キッカケは、昨年の八月。それまでは、前述の作家達や深谷忠記、鮎川哲也などを読んでいたが、ある日、本屋で「霧の旅 唐津の殺人」という標題が目にとまった。作家は津村秀介とある。読んで記憶がない。奥付を見ると初版は平成六年七月二十日となっている。虹の松原を舞台に書いて

たアリバイ崩しである。イッキに読んだ。プロットが実に巧みで、二重三重に巧妙なアリバイが仕組まれていた。これを主人公の浦上伸介と谷田実恵が崩してゆく。そしてその舞台が全て横浜を経由して流れてゆく。熱中するにつれ、横浜の中華街や伊勢崎町、桜木町そして日本大通りやフランス橋、関内などが脳裏に焼き付いてしまい、これは一度横浜に行かないとダメだと思ひ込み、とうとう昨年十月横浜まで行ってしまった。結構思い込みが激しい方ではあるが、自分自身「ここまでとは思わなかった」。

関内駅を降りて、日本大通りを歩きながら、「あの事件は、ここの飲み屋で話していたのか」とか、「横浜支局のビルはここにあるのか」などと考えていると、今にも浦上伸介がそのビルから出てきそうな気がした。そんな訳はない。今頃は、アリバイ崩しのために長野県の諏訪湖に行っている筈だ。うん? 一つの間に、現実と空想の狭間で遊んでいる自分が可笑しかった。そういえば、学生時代に「伊豆の踊り子」を読んで、天城峠から修善寺界隈を徘徊したことをフット思ひ出した。

(理事 水門繁俊)

ぶるちん会 同窓会

平成八年は旧制佐賀中学校
創立以来百式拾周年を迎える

栄城同窓会 福岡支部

(旧佐中新佐高西高旧佐高女・成美)

支部会長 真崎寅二郎

(旧佐中49回昭八卒)



老楠かおる佐賀城の一角
(書院跡)に建てられた母校・旧制佐賀中学校は明治の廃藩置県により藩校を改めて明治九年二月佐賀実業中学校として開校、その後明治拾六年五月には佐賀県佐賀中学校と改称し再び明治参拾四年五月に始めて佐賀県立佐賀中学校となった。

輝しい歴史と伝統を持った旧佐中は明治大正昭和平成の長きにわたり質実剛健鍛身養志の校風をもつ全国屈指の進学校として名を馳せ、戦前戦中は幾多の陸海軍の将星・戦後は池田直(佐賀県知事)を始め白木康進(会計検査院長・宮崎勇(経済評論家)今泉巨隆(警視總監)の各氏等多数の俊秀を輩出している。

平成八年には創立以来百式拾周年を迎えることになりました。

現在の西高校庭の一隅に旧佐中時代の記念碑がありそれには「我此処に立つ慕わしき恩師懐しき学校影深き学舎馨(かぐ)わしき校風ここに蘇る」と刻まれている。此の碑文に接し若き日の思い出、感慨無量です。

栄城同窓会は今も旧佐中の卒業生を以て組織されていますが戦後の学制改革により旧佐中佐高女成美の三校が統合され新制佐高となり従って各校の同窓会も吸収合併されて新しい栄城同窓会になりました。その後また新制佐高が分割され西高のみを同窓会に入れ栄城同窓会は今や旧佐中、新制佐高、西高に佐高女成美を加えマンモス同窓会になっています。

当会は全国に關東中部關西福岡の四支部がある。

わが福岡支部は昭和四拾八年頃から旧佐中出身者で福岡市とその近郊の有志のみの栄城同窓会をつくり永倉三郎さん(もと九電会長)を中心に七拾八拾人が集り毎年九電ビルのホールで行って居りました。ところが月日の経つにつれ、終に昭和六拾参年から当会に新たに新制佐高西高の同窓会が加わり合同の会を

例年秋恩師本部の会長を招き実施することになりました。昨年拾参月には第六回の会を催しました処若き新制佐高西高多数参加のため会場は活気がみなぎり時間のたつのも忘れて明るい楽しい盛大な同窓会を催すことが出来ました。

同窓会は会員相互の親和並びに会員と母校との連絡を図ることを目的としておりますから母校の先輩同僚後輩一堂に会し年に一度若き日の思い出を語る絶好の機会であり、心と心のふれあいを更に深め友情と交流の精神を次の世代に引きつぐ意義深い会合でありますから会員の皆様多数の出席を心からお願ひする次第であります。

おくれましたが永倉三郎会長の逝去に伴い後任に副会長の真崎が総会の承認を経て会長に就任致しました。微力ではあります皆様方の御指導と御鞭撻によりその重責を果したいと存じますので宜敷くお願い申し上げます。最後に県人会の益々の発展と皆様方の御健康と御多幸をお祈り致します。



オートエアコン
標準装備

CAMRY これからの高品位セダン。
スペースフル・5ナンバー・セダン



信用で売る店

トヨタカローラ 福岡株式会社

本社/福岡市中央区長浜2丁目1番5号 ☎ 092-712-7111(代表)

このごろ 私は

小さな

ボランティア

甲斐日出夫さん



昭和五年生まれの私、六十才で退職、年金生活も板につき、家内と二人、第三の人生をエンジョイしている現在です。そう言っても、地域社会で、生活している以上、町内会のお手伝い、当番幹事や、町内会の話し合いにも参加、協力しています。最近、高齢化社会を迎え、ボランティア活動の一環として、趣味の囲碁を生かして、囲碁同好会の発起人となり、毎週、日曜日

「老人いこいの家」で、六七名の少数参加ですが、楽しく開催しています。他の地域では、十数名の参加で、毎週二回、囲碁会が行われ、八十才から、六十才迄の、お年寄りが、楽しく集い、頭の体操でフレッシュを、計っております。もう一つは、G・G（ジ・ジ）会と言う同好会があり、二ヶ月に一度、十数名の参加で、賑やかに白球を打っております。平成七年度より、県立佐賀工業高校、同窓会、福岡支部の支部長を仰せつかり、使命感に燃えている、今日この頃です。

宮副 博昭さん

血液は1/2でも
気持ちは1/2

佐賀工業高校、同窓会支部長 佐賀市出身

両親が亡くなって十数年、最近よく若い時代を振り返るようになった。私は佐賀生まれではない。母（サカエ）は嘉瀬村、父（旧姓緒方丈助）は朝倉郡の出身で縁あって佐賀と福岡の血が交り私は誕生。従って私の血の1/2は佐賀であり大変、誇りに思っている。

中学時代迄、夏休みは親戚へとぶように行ったものである。国道をバスで着く頃、広々とした平野の中に家はポツンと見えた。横のクリークでの水泳、魚釣、県庁前でのボート乗り等、自然の中での遊びであった。魚はコブ巻で炊いて食べさせてもらった。そのせいか川魚は今でも平気だ。

高速道の整備で佐賀市内へ入る機会がメッキリへった。久しぶりに旧国道を通ると親戚の家は全く見えず、通り過ぎてしまふ。沿道は会社の建物で埋めつくされている。

熱気球大会、空港建設、森の博覧会など、佐賀からの情報も多く嬉しい限りだ。

そう言えば、いつだったか西鉄大牟田線の車内広告にこんな見出しがあった。「見どころいっぱい佐賀、本気でさがしてみよう」と。

明日へ

八坂 久さん



「本番5秒前」5・4・3……」民放という秒単位の世界から、定年で身をひいたのが4ヵ月前でした。三池争議をはじめ数々の歴史の転機に立会い、西鉄三連覇などスポーツの感動を目の当たりにした満足の40年でした。しかし一方で時間との戦いから解放されたい思いがあったのも事実でした。ところがいきなり与えられた24時間の自由の長さをもちあまし、虚脱感に支配される日々が続きました。「明日からどう生きる？」還暦、定年、故郷、幼なじみ、原点への回帰……これまで身につけた夜を脱ぎ捨て新しい生きがい、喜びを共有できる人と環

一日一日を大切に

市原 康史さん



早いもので福岡に赴任して2年が経とうとしています。入社時、57キロだった体重も今では10キロ近く増え、日頃の不摂生を改心しようと思う今日この頃です。

九州各県紙の中でも、「佐賀新聞」の位置付けは非常に高く、編集、営業を問わず、有意義な情報を佐賀へ伝えようと頑張っています。仕事においてもプライベートにおいても、佐賀県出身の方々と接する機会も多く、昨年の佐賀商の活躍や平成七年の世界・森博、平成十年の佐賀空港開港など、話の種には事欠きません。

個人的には新年早々、追突事故に遭ったりと波乱の一年の始まりとなりましたが、一

一日一日を大切に、博多の街を闊歩（かっぱ）しています。

有明町出身 佐賀新聞福岡支社勤務

ダイナミックNY

大草 秀幸さん



あつという間の十年。天神の喧嘩を楽しみながら佐賀新聞福岡支社に二年間の勤務をしたのが十年前。当時、県人会報編集のお手伝いをして。今度はその原稿を書くはめになり、妙な気分だ。

佐賀新聞社も本社社屋を佐賀駅に近い大和紡跡地（こちらも天神）に移し、ずっとあわただしかった。プライベートには自宅を新築し、ずっとあわただしかった。そんな最中に「社員研修ニューヨーク一ヵ月」というビッグなプレ

故郷忘れ難し

古川 忠さん



佐賀新聞社編集局次長

ゼントをいただいた。「研修」とは名ばかり。マンハッタンのブロードウェイに面したアパート暮らしで、一ヵ月を優雅に楽しく。ケンシウ、した。アメリカの物価の安さに驚き、セントラルパークの森をたんのうし、美術館・博物館巡り、クラシック、ジャズコンサート、ミュージカル三昧で頭が空っぽになった。

その頭の隅っこをケンシウウ、ががすめ飛び、ニューヨーク・タイムズ、USAトゥデー、ワシントン・ポスト本社を訪問した。アメリカのダイナミズムを肌で感じ取った一ヵ月ではあった。

昨年夏、父の「仲人」を、息子の私がした。母が急逝して七年。父夫婦は何せ四十年余も仲良くケンカを続けてきた間柄であつたから、その落胆ぶりは一入だった。心配して下さる方からの再縁話も数多くあつたが、最終的に気が合った相手は、母と全く同郷しかも武雄高校（母は高女）の約二十年後輩の方だった。これにはむしろ、先方が気兼ねした。同じ故郷を持つ四人の子供達との新しい家族関係もやがて重なるのか、中々決心がつかかねていた。それならいっそ、息子の私が仲人をすれば……

母の七回忌法要が終わるのを待って結納を行った。暑い夏の日。結納の品と一緒に、父を車で伴って武雄のお宅に出向いた。「何とぞ父を宜しく」との口上の間、父は私の横で畏まって座っていた。帰途、母の実家のあつた近くを通り過ぎた。「これでいいですね。親孝行ですよネ」心の中で母に手を合わせた。父の目は遠くを見ていた。

（追記）父は今、四、五才は若返ったように見える。

（福岡県議会議員）

昭和シェル石油株式会社 特約店

昭和商事石油株式会社

代表取締役社長 金子 宜嗣

本社 福岡市中央区大手門2丁目3番7号
電話代表092(714) 3 1 1 1 番



境を探し、創ろう、そういう思いが湧き始めました。この日を予期して家内に押しつけてきた趣味のうちカラオケ、麻雀、ボーリングは何とかモノになり、又幸いにも地域に同郷の人も多く、又近所のゴルフ会も順調です。そうした結びつきを強め、その輪を広げることから、第二の人生の一步をと考えているこの頃です。

略歴
鳥栖小、中、高 同志大、九州朝日放送報道部、スポーツ部歴任

福岡市佐賀県人会 最近の入会者名簿

氏 名	〒	住 所 (自 宅)	電話番号	職業・勤務先	出身地
後藤美子	811-12		—	—	小城町
吉田正彦	815			福岡赤十字病院	鹿島市
山田 京	819			筑紫女学園高校	鹿島市
坂本徳三	813			(株)サカモト	玄海町
山口節子	810			ネクタイ専門店 白樺	相知町
白川秀嗣	815			白川秀嗣事務所	佐賀市
松尾 基	819			唐津土建工業(株)	鎮西町
村山博之	815			林兼石油(株)	多久市
田口亮一	816			日本通運(株)	唐津市
佐伯和之	810			佐伯内科クリニッ ク	相知町
山下博司	810			—	唐津市
久保良一	847			(株)岸本組	唐津市
大宅節夫	810			(株)三光	伊万里市
飯盛月弘	811-21			—	佐賀市

会員の作品を

お持ちしています

「会報むつごろ」の紙面を通して、相互交流を深めましょう。

創作、随想、釣り自慢、レジャー紀行文、短歌、俳句、子供たちの作品、サークルの発表会—なんでも歓迎しています。

絵画、書、造形作品などの場合は写真をお送りください。おまちしています。

投稿作品には、テーマ、住所・氏名・年齢・職業(学校・学年)出身地を記入してください。

また、要点、連絡先を電話いただくのも結構です。のちほどこちらから「取材」いたします。

入会の勧め

県人會では毎年恒例の行事として、年度總會および懇親會を催し、会員の親睦交流を図っています。また会員には年二回発行の「会報むつごろ」をお届けします。未加入県出身者に入会を勧めさせていただきます。入会あるいは紹介の問い合わせは、県人會事務局へどうぞ

編集デスク

新しい年を迎えました。世界も日本も変わろうとしています。わが佐賀県人會も皆様の御協力により、親睦の輪が益々広がって行く様祈念いたします。

いよいよ福岡市のユニバーシアード並びに「ふるさと佐賀の世界森博」に向けての動きも軌道にのってきたようです。森博のふるさと佐賀応援団員としての協力もお互いに頑張りましょう。

この度の阪神大震災の大惨事に胸が痛みます。被災された方々のご冥福と一日も早い復興を心よりお祈りいたします。(T)

会報むつごろ

平成7年2月25日 発行
福岡市佐賀県人會
(発行責任者 田中 秀男)
福岡市中央区大手門2-3-7
昭和商事石油株式会社
☎ 092-714-3111
製作 (有) タナカ製本印刷所
☎ 0955-23-5214